

## 特別会計

特定の事業を行うため、一般会計とは別に経理を行う会計。

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	38億6,621万円	37億7,125万円
土地取得特別会計	1億711万円	9,969万円
介護保険特別会計	25億3,111万円	24億2,221万円
後期高齢者医療特別会計	9億305万円	9億181万円
卯塚墓園事業特別会計	9,637万円	9,346万円
公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計	9億9,343万円	8億1,634万円
合計	84億9,729万円	81億476万円

## 企業会計

地方公営企業法の適用を受けた会計。  
本市では下水道事業会計が該当します。

会計名	収入	支出
下水道事業会計(収益)	15億8,867万円	15億4,167万円
下水道事業会計(資本)	3億6,232万円	9億1,275万円
合計	19億5,099万円	24億5,442万円

いずれの  
指標も、長久手市は  
「健全」です。

## 健全化判断比率・資金不足比率

HPを見る

記事ID 13641

健全化判断比率	H30年度	H29年度	早期健全化基準
実質赤字比率…一般会計等における赤字の割合	—	—	13.09%
連結赤字比率…全会計における赤字の割合	—	—	18.09%
実質公債費比率(3か年平均)…財政規模に占める市債等の割合	-1.8%	-1.4%	25.00%
将来負担比率…将来財政を圧迫する可能性を示すもの	—	—	350.00%
資金不足比率	H30年度	H29年度	早期健全化基準
下水道事業会計	—	—	20.0%
公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計	—	—	20.0%

※実質公債費比率(3か年平均)を除き、負数の場合は表示されません。なお、早期健全化基準を上回ると厳しい財政状況とされ、自主的な改善を要します。

## 全国・愛知県内市町村平均との比較(H30決算)

全国や県内の  
市町村平均と比べ  
ても、長久手市の財政  
は健全なのね

	長久手市	県内平均	H29全国平均	分析
実質収支比率	4.5%	4.2%	4.1%	財政規模に占める実質収支(黒字)の割合。一定の黒字額を計上しているといえます。
経常収支比率	87.1%	89.5%	92.8% (93.0%)	経常的な収支の割合。比率が100%に近いほど財政が硬直しているといわれますが、比較的弾力的な運営をしています。
実質公債費比率(3か年平均)	-1.8%	2.7%	6.4% (6.1%)	公債費(借金の元金・利子の償還費用)の割合が少なく、健全な財政運営をしているといえます。
財政力指数(3年平均)	1.08	1.01	0.51 (0.51)	財政力を示すもの。税收を中心に安定的な収入が確保できており、収入が需要を上回るため、高い水準にあります。

上記の指標で比較した結果、長久手市の財政運営は健全であると言えます。今後も、適切な財政運営に努めていきます。なお、全国平均について、H30は11月15日現在集計中です。(カッコ内はH30速報値)

